

# 子ども用イスの安全性及び適合性の評価手法の確立

## 三惠工業株式会社

### プロジェクトの目的

「傷害サーベイランス」※によると、イスに関連した傷害は、多発している（子どもの傷害に関わる製品の3位）。

そこで、その事故を防ぐような製品開発・改善のために、子どもの座位身体寸法データ、行動特性等のデータを整備する。

※平成19～21年度安全知識循環型社会構築事業による

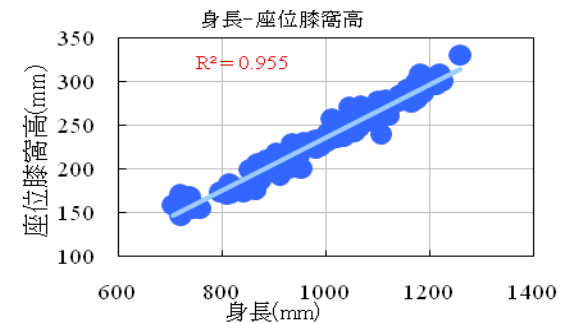
### 実施方法

- ・自宅におけるイスに関するつかわれ方や不具合の調査:25軒の被験者宅を訪問し、間取り調査、日常生活の中での不具合調査を実施。
- ・身体寸法の調査:1/25-2/3まで被験者計測実験(140人)を実施。(有効測定数136人)



### 結果

- ・被験者宅の訪問調査軒数25軒中、不具合を感じた軒数が15軒、不具合内容の件数は23件におよんだ。
- ・製品に起因すると思われるものと、使われ方による物が混在。
- ・子どもの座位身体データはイスの設計に必要なデータがまとまった。



### 今後の展望・展開

- ・幼児用イス用の基本寸法が得られたのでこれを元にイスを試作して実証していく。
- ・使われ方に関して、製品のハードの部分と使われ方のソフトの部分子どもの動きにあわせたバランスの取れた安全設計対策が求められ、これらは継続して調査、検証は必要である。